

2022年 iQ FOiL アジア競技大会(中国・杭州) 代表選考会第2戦

<帆走指示書 (SI) >

[DP] は、WCR序文一表記にしたがってペナルティーが決定される規則を意味する。
[NP] は、この規則の違反は、ボードによる抗議の根拠とならないことを意味する。
[SP] は、レース委員会が、審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。

1 適用規則

ウィンドサーフィンフリート競技規則（セーリング競技規則2021-2024および付則B）に定義された規則（以下WCRという）、クラスルール、本帆走指示書、及びSI 2項の通告を適用する。
なお、本大会ではコースレースとスプリントスラロームの2つのレース形式にて行われる。

2 競技者への通告

競技者への通告は、レース開始の30分前までの、大会本部に設置された公式掲示板への掲示、及び予告信号以前での海上本部船からのL旗掲揚による口頭指示により通告される。

3 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、通知された時点から有効とする。
6.1のスケジュールの変更は、通告された時点から有効とする。

4 陸上で発する信号

- 4.1 陸上の信号は、公式掲示板付近に設置されたフラッグポールに掲揚する。
- 4.2 D旗が音響1声と共に掲揚された場合には「選手はレース・エリアに向かえ」ということを意味する。
- 4.3 D旗が掲揚されない場合、その日のレース又は次のレースのスタート時刻は延期されていることを意味する。選手は大会本部からの指示に従わなければならない。
- 4.4 AP旗が陸上で掲揚された場合、レース信号AP旗の「1分」を「15分以降」と置き換える

5 [DP] [NP] 海上で発する信号

スタート・ライン又はフィニッシュ・ラインに位置するレース運営船、又はその他のレース運営船に H旗、N/H旗、AP/H旗、が掲揚された場合には、競技規則レース信号に定められたそれぞれの意味に加え、「直ちに指定された浜に戻り、帰着申告をしなさい」を意味する。

6 レースの日程

6.1 スケジュール

2月11日（金）

9:00 - 10:00

受付 及び 抗原検査

11:00

開会式 & 選手ブリーフィング

13:00

第1レースの予告信号予定

以降、引続きレース（最大3レース）

2月12日（土）
9：30 その日の最初の予告信号予定
以降、引続きレース（最大4レース）

2月13日（日）
9：30 その日の最初の予告信号予定
以降、引続きレース（最大3レース）
16：00 表彰式&閉会式

6.2 3日間で最大10レースを予定する。

6.3 最終日のレースの予告信号は14:00以降に発せられることはない。

7 本部船の見通し旗

本部船に掲げるスタートラインの見通し旗は、オレンジ旗用いる。

8 レース・エリア

8.1 レースを行う海面は指定された海面とする。

8.2 [DP] [NP] レース委員会が指定する場所から出艇することとする。またレース海面への行き帰りについても、指定された水域以外への立入を禁止する。

9 レースの内容、コースとマークの形状

9.1 行われるレース内容、レースコースの詳細は、ブリーフィング時及び公式掲示板にて発表し、その後の変更については少なくとも次に行われようとするレースの旗掲揚までにSI 2項に従い掲示する。

10 スタート

10.1 スタートは以下のように行われる。

3 分前（予告信号） 赤旗掲揚（男子）・黄旗掲揚（女子）

2 分前（準備信号） U旗（または黒色旗）掲揚

1 分前 U旗（または黒色旗）降下

0 スタート 赤旗降下（男子）・黄旗降下（女子）

10.2 [DP] [NP] フィニッシュしたボードは、レース中のボードを十分に避け、そのレース終了時刻までレースエリアへ入ってはならない。

10.3 スタート信号後4分以内にスタート出来ない場合は[DNS]と記録される。

10.4 ヒート別、男女別にスタートする場合は、基本的に前のスタート信号時を次のスタートの予告信号とするが、AP旗掲揚にてスタートを調整する場合も有る。

11 タイム・リミット

コースレースの場合は、先頭のボードが定めるコースを帆走してフィニッシュ後、10分以内にフィニッシュ出来なかったボードは[DNF]と記録される。

スプリントスラロームの場合は、先頭のボードが定めるコースを帆走してフィニッシュ後、4分以内にフィニッシュ出来なかったボードは[DNF]と記録される。

12 得点

1位1ポイント、2位2ポイント、3位3ポイント、以下は順位がポイントとなる。またDNS、DSQ、DNF、RET等の選手は、参加数+1点とする。

1~3レースが成立した場合はすべてのレースをカウントする。4~7レースの場合は、最も悪い得点のレースポイントをカットできる。7レース以上の場合には2つの得点をカットできる。カットされたレースを除いて得点の一番低い選手が1位となる。

本大会は3レースの成立で、大会成立となる

13 抗議と救済要求

13.1 抗議書は大会本部で入手できる。抗議及び救済または審問再開の要求は、適切な時間内に大会本部に提出されなければならない。

- 13.2 抗議の制限時刻は、その日の最終レース終了後、またはレース委員会が本日これ以上レースを行わないという信号を発した後の、どちらかから40分とする。
- 13.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、公式掲示板に掲示する。
- 13.4 付則 T (調停) を適用する。
 - 13.4.1 プロテスト委員会の正規抗議審問の代替として、競技者は調停使用の選択権が与えられる、しかし、審問の前に、抗議者および被抗議者の両者が裁定人の判決を受託すると合意する場合のみである。
 - 13.4.2 裁定人は2名とし、抗議者と被抗議者のみの証言を聴き、どのボードが規則に違反したか(もしあれば)について結論を下す。
 - 13.4.3 判決は抗議の当事者すべてを拘束するが、審問はWCR66に基づき再開することができる。
 - 13.4.4 裁定人がボードにペナルティーを課す場合、適用されるペナルティーはクラス/ディヴィジョンにおける参加数の30%(少数以下を四捨五入)の得点ペナルティーとなる。得点ペナルティーの加算で、そのレースで失格とされたボードに適用される得点より大きい得点を受ける結果となる場合、そのボードは失格とされたボードと同得点が記録される。得点ペナルティーの適用は、該当のフリートの他のボードの得点に影響を及ぼしてはならない。得点はARBとして成績表に表示される。
 - 13.4.5 抗議の当事者にアービトレーション・システムが提示された時点で、当事者のいずれかがシステムの受託を拒否する場合、抗議は正規のプロテスト委員による審問がされ、ペナルティーは失格となる。

14 安全規定

- 14.1 [DP] [NP] 出艇の際は、ヘルメット及び防具(ライフジャケットやインパクトベスト等)の着用を義務付ける。なおウェイトジャケットの使用は認めない。
- 14.2 道具や身体の問題により救助を要請する場合は、頭の上で大きく手を降って運営船に合図をする事。
- 14.3 [SP] 競技開始前、終了後に出艇及び帰着の申告を行わなければならない。申告に関する手続きに誤りのあったボードに対して、レース委員会は審問無しにSCPと記録し、フィニッシュした順位の数に3を加えた得点(出艇の手続きに違反した場合はその日の最初のレース、帰着の手続きに違反した場合はその日の最後のレース)を与えることがある。ただし、失格のボードより悪い得点を与えられることはない。これはWCR A5を変更している。
- 14.4 リタイアする場合は、できるだけ早くレース委員会へ通知しなければならない。

15 [DP] 装備品の修理および交換

- 15.1 クラスルールにて認められている範囲以外での、損傷又は紛失による装備の修理や交換は、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。
これらの要請は、最初の適当な機会にレース委員会に伝えなければならない。

16 [DP] 支援艇

コーチ、その他の支援要員は、準備信号の時刻からすべてのボードがフィニッシュするか、又はレース委員会が延期、ゼネラルリコールもしくは中止の信号を発するまで、レースに影響するエリアにはならない。これに違反した場合、その支援艇に関連する全てのボードに対してペナルティーが課せられることがある。

17 コンディション

- 17.1 風速及び波高等コンディションに関してはレース委員長が行うものとし、それに対する抗議は一切受け付けない。
1つの目安としては、5ノットから15ノット未満の風ではスプリントスラローム、10ノット以上の風ではコースレース

18 責任の所在

本大会の主催者及び競技役員は、人員及び道具に対する全ての損害の責任を負わない。参加選手は自己の責任において参加申込を行い、併せて保険の付加を行わ

なければならない。一切の責任は、参加選手に帰属する。スタートするか否か或いは競技を継続するか否かを定める責任は選手各自で負う（WCR 4）。競技中レスキューが必要となった選手に対して、ボード等を放棄させる場合がある。これに同意出来ない選手は競技に出場する資格を失う。

19 マナー

本大会参加選手及び関係者は、海中、砂浜等へゴミを投棄してはならない。また大会の名誉及び品位を著しく損なうような行為のある場合は、本大会の出場を停止、今後の大会への参加停止、罰金等のペナルティーを与える。順位がこれによって変わるとレース委員会が判断した場合正当に修正される。

20 賞

総合メンズ及びウイメンクラス各1位

U21メンズ及びウイメンクラス各1位

※U21クラスの選手は、総合クラスにも含まれる。

※アジア競技大会代表選考会第2戦（詳細は、日本セーリング連盟オリンピック強化委員会HP参照）

※本大会の成績により、2022年度の日本ウインドサーフィン協会の補助対象選手を選出する場合がある。

※本大会の成績を参考に、2022年度日本セーリング連盟オリンピック強化委員会海外大会派遣事業の補助対象選手を選出する場合がある。

—付則—

● COVID-19 感染対策について

コロナ禍での大会開催ということから、選手を含む関係者全員に安全にウインドサーフィンを行える様々な仕組みを考えることを求める。大会関係者は、日本スポーツ協会、日本セーリング連盟および日本ウインドサーフィン協会の感染対策及び以下の本項を遵守し、安全に配慮して競技を行うこととする。

- (1) 本大会は、以下の項目が一つでも当てはまる場合、中止とする可能性がある。また、レースが1レースでも成立した後での中止は、予備日などの行使をせず、中止の決定をもって大会終了とする。
 - A) 大会期間中に COVID-19 とと思われる症状を訴える選手が見つかった。
 - B) 参加選手が国内の COVID-19 感染者の濃厚接触者であると発覚した。
 - C) その他、大会の開催によってクラスターが発生し得る状況になった。
- (2) 本大会期間中の選手の健康管理及び安全管理に基づく決定事項は、日本ウインドサーフィン協会が JSAF 作成のガイドライン「セーリング競技に関わる大会等再開時のガイドライン」に厳格に従いながら日本ウインドサーフィン協会が全ての決定を行う。また、本大会では陸上スタッフによって、感染対策の履行が正しく行われているか、また、諸問題が発生していないかが常に確認される。本公示に記載の内容に反していると陸上スタッフに判断された場合には、事項で説明されるペナルティを履行させる。
- (3) 本項で要求される内容全てを大会に出場する選手は遵守しなければならず、これに違反した選手は運営の定めるペナルティを履行する。具体的には、大会の成績及び出場登録を抹消し、即刻帰宅を命じる場合がある。
- (4) 大会当日の感染防止策として、会場の数カ所にアルコール消毒液を設置する。また、更衣室やトイレでの3密防止のため、着替えなどは宿または自宅などで済ませた状態で会場に向かうことが望ましい。また、陸上では必ずマスクを着用すること。マスクを外して良いのは、出艇申告を済ませてからとし、レース後、帰着申告が終わったら速やかにマスクを着用すること。
- (5) イベント終了後2週間以内に COVID-19 感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。